

令和5年度実証実験サポート事業 課題提案票

テーマ7

ケータイ・スマホを活用した災害時の安否確認の強化（袋井市）

1. 解決したい課題の内容

- ・平成23年に発生した東日本大震災を教訓とし、また国が実施した南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえ、静岡県において、静岡県第4次地震被害想定が策定されている。
- ・袋井市においては、同被害想定において、市内で約600人が建物倒壊などによる人的被害が提示されていることも踏まえ、平時からの防災活動に力を入れている。
- ・現在、同市では大規模災害時には各地域の自治会組織である自主防災隊が中心となり、市民の安否確認を行うことを想定している。具体的には、住民避難時に①世帯⇒②班⇒③自治会⇒④支部⇒⑤災害対策本部の順で安否情報を集約する流れとなっているが、自治会未加入者の増加や個人情報保護の観点もあり、全市民の安否確認が課題となっている。
- ・また、地域毎に自主防（自治会）台帳による世帯員の把握を行ったり、安否確認用の旗を玄関先に掲揚したり、避難所の受付名簿での確認、LINEでの自治会内の連絡網構築など、様々な取り組みを行っているが、全国の災害事例を見るとまだまだ課題が残る状態である。

（各種ツールによる課題）

- ・自主防（自治会）台帳：個人情報保護の観点から各世帯の任意登録となっている。
- ・安否確認用の旗：現状の世帯人数の正確な把握ができていないこと
- ・避難所の受付名簿での確認：記入やその後の集計の手間が多いこと
- ・LINEでの自治会内の連絡網構築など：LINEを持っていない人や持っても連絡網には入っていないこと

2. 実現したい目標について

- ・市民一人ひとり（世帯毎でも可）が安否登録する仕組みづくりができるようにしたい。
- ・本人が登録できることが望ましい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

- ・ケータイ等を活用した情報登録の仕組み

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下を想定するがこれにこだわらない。

・エリアを絞って、自治会と連携しながら仕組みを検証する

9月：静岡県総合防災訓練（市内全域）

12月：地域防災訓練（市内全域）

3月：津波避難訓練（沿岸地域のみ）

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

・袋井市「自主防災活動」

<https://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/soshiki/3/2/bosai/zisyubo/1422537647416.html>